

詔書

天佑ヲ保有シ萬世一系ノ皇祚ヲ踐ムル  
大日本帝國天皇ハ昭ニ忠誠勇武ナル汝有  
眾ニ示ス

朕茲ニ米國及英國ニ對シテ戰ヲ宣ス朕カ陸  
海將兵ハ全力ヲ奮テ交戰ニ從事シ朕カ百  
僚有司ハ勤精職務ヲ奉行シ朕カ眾庶ハ各  
其ノ本分ヲ盡シ億兆一心國家ノ總力ヲ擧ケテ  
征戰ノ目的ヲ達成スルニ遺算ナカラムコト  
ヲ期セヨ

抑、東亞ノ安定ヲ確保シ以テ世界ノ平和ニ

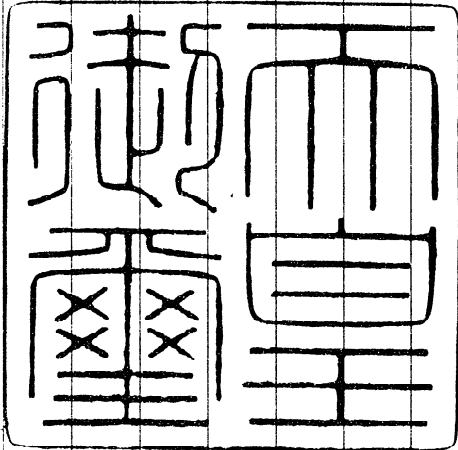
寄與スルハ不顯ナル皇祖考丕承ナル皇考、  
作述セル遠猷ニシテ朕カ拳々措カサル所而  
シテ列國トノ交誼ヲ篤クシ萬邦共榮ノ  
樂ヲ偕ニスルハ之亦帝國カ常ニ國交ノ要  
義ト爲ス所ナリ今ヤ不幸ニシテ米英兩  
國ト釁端ヲ開クニ至ル洵ニ已ムヲ得サルモ、  
アリ豈朕カ志ナラムヤ中華民國政府曩ニ  
帝國ノ真意ヲ解セス濫ニ事ヲ構ヘテ東  
亞ノ平和ヲ攪亂シ遂ニ帝國ヲシテ干戈ヲ執  
ルニ至ラシメ茲ニ四年有餘ヲ經タリ幸ニ國

民政府更新スルアリ帝國ハ之ト善隣ノ誼  
ヲ結ヒ相提攜スルニ至レルモ重慶ニ殘存スル政  
權ハ米英ノ庇蔭ヲ恃ミテ兄弟尚未タ牆ニ相  
鬪クヲ悛メス米英兩國ハ殘存政權ヲ支援シ  
テ東亞ノ禍亂ヲ助長シ平和ノ美名ニ匿レテ  
東洋制覇ノ非望ヲ逞ウセムトス刺ヘ與國ヲ誘  
ヒ帝國ノ周邊ニ於テ武備ヲ増強シテ我ニ挑戰  
シ更ニ帝國ノ平和的通商ニ有ラエル妨害ヲ與  
ヘ遂ニ經濟斷交ヲ敢テシ帝國ノ生存ニ重大  
ナル脅威ヲ加フ朕ハ政府ヲシテ事態ヲ平和ノ

裡ニ回復セシムトシ隱忍久シキニ猶リヌルモ彼  
 毫モ交讓ノ精神ナク徒ニ時局ノ解決ヲ遷  
 延セシメテ此ノ間却ツテ益々經濟上軍事上ノ  
 脅威ヲ増大シ以テ我ヲ屈從セシムトス斯ノ  
 如クニシテ推移セムカ東亞安定ニ關スル帝國  
 積年ノ努力ハ悉ク水泡ニ歸シ帝國ノ存立亦  
 正ニ危殆ニ瀕セリ事既ニ此ニ至ル帝國ハ今  
 ヤ自存自衛ノ爲蹶然起ツテ一切ノ障礙ヲ  
 破碎スルノ外ナキナリ  
 皇祖白皇宗ノ神靈上ニ在リ朕ハ汝有眾ノ

忠誠勇武ニ信倚シ祖宗ノ遺業ヲ恢弘シ  
 速ニ禍根ヲ芟除シテ東亞永遠ノ平和ヲ  
 確立シ以テ帝國ノ光榮ヲ保全セムコトヲ  
 期ス

裕仁



昭和十六年十二月八日

内閣總理大臣兼  
外務大臣陸軍大臣

文部大臣

國務大臣

農林大臣兼  
拓務大臣

厚生大臣

司法大臣

海軍大臣

外務大臣

逓信大臣

東條英機

橋田邦彦

鈴木貞一

井野碩哉

小泉親彦

高村直也

寺島健

東郷英徳

大藏大臣

商工大臣

鐵道大臣

賀屋興宣

岸信介

八田嘉明